

### 「第3回若ツナフェスタ」を開催しました

2024年12月7日(土) 10:00-21:00、広島市南区比治山で開催された「あつ”たまる”比治山2024\*」(共催：広島市他)に参加し、「若ツナフェスタ」を実施しました。



若ツナフェスタは、「若者×ツナグバ」で今年度支援している団体が初めて顔を合わせて協働活動を行うもので、「若者同士をつなぐ」、「若者と地域をつなぐ」、そして「若者が関与する地域の活性化につながる」取り組みを支援するものです。

今回参加した若ツナメンバーは、小学校ではできない遊びや体験活動を通して学生と子どもと一緒に楽しむ機会を創出している学生のボランティア団体「enjoy spielplatz(エンジョイ シュピールプラッツ)」と、広島県内の様々な大人(社会人)と大学生が交流する場づくりに取り組む学生団体「CROSS BUILD(くろすびるど)」の2団体、18名です。

あつ”たまる”比治山に参加することにしたのは、活動場所と内容を検討している際に、当イベントを知ったメンバーがみんなに紹介したことに始まります。それまで、どのような内容を行うか何度も話し合いを重ね、アイデアは出るものの具体化を目の前にするると実現可能性を見いだせず、団体それぞれでもアンテナを張り情報収集・検討を行う苦労する日々が続いていました。そこに飛び込んできた今回参加することになったイベント情報、決め手は、enjoy spielplatz が対象としている子どもに向けたプログラムが提供できること、また、CROSS BUILD が普段の活動として取り組んでいる社会人と学生が交流する場が設けられていることでした。そこから2団体が協力して、学びや気づきを得るためにどちらのブースも体験できるよう役割分担を決めて、必要資材や機材等を手配し、当日を迎えることができ

ました。2団体協力して取り組むことで、お互いの活動の魅力を発見し自団体の今後の取り組みの改善のヒントを得たり、若者の地域における役割について考えるきっかけになったりと、とても有意義且つ刺激的な若ツナフェスタになったようです。 (本郷)

\*あつたまる”比治山2024: <https://satomachi.jp/attamaruhijiyama-2024/>

## <出展内容>

### ◆enjoy spielplatz(エンジョイ シュピールプラッツ)

学生主体の「可愛く変身」をテーマにしたゾーン「くるくるちえんじ」に「ふゆのひアート」を出展。どんぐりなどの自然素材やビーズ他いろいろな材料を使って、お子さまに、オリジナルアクセサリーづくりを楽しんでもらいました。



### ◆CROSS BUILD (くろすびるど)

大人と学生が焚火を囲んで交流する「オトナの学祭」にて、場を盛り上げるための企画を提案・実施したり、学生ファシリテーターの他ワークショップで出た意見を取り纏めて発表したりしました。その他、CROSS BUILD の定例イベント運営に携わるメンバーが取り組んでいる「もったいないコスメで仮面を彩ろう」を「くるくるちえんじ」のゾーンに出展し、学内で集めた不要になったコスメを使っての仮面づくりを楽しんでもらいました。



## 〈参加した「若者×ツナグバ」メンバーの感想〉

### ■目的1「若者同士をつなぐ」について

- ・準備期間中は、何度もオンラインなどを通して今までよりもお互いのことを知れて、繋がることができた。
- ・2 団体の活動テーマや対象年齢が異なり、どのように企画していくのかを考えるのが難しかった。また、お互いの進捗具合を確認するためのスケジュール管理において、双方がうまくサポートし合えるようにするのに苦労したが、コミュニケーションを重ねる中でお互いの役割や目的が明確になり、よりスムーズに進行できたと感じている。
- ・普段関わることのない大学の皆様と一緒にイベントを企画・運営することで、お互いの活動内容を共有し合う機会を得ることができた。
- ・イベントを通じてお互いの活動の魅力を発見できた点から、2 団体が繋がったと感じる。この経験を今後の活動に活かし、引き続き団体間の連携を深めていきたい。
- ・開催当日はお互いのブースを行き来して、わからないことや困りごとを聞くなど支え合いながら活動できたため、それぞれのブースで来場者の思い出に残るようなワークショップを一緒に作り上げることができたように感じている。

### ■目的2「若者と地域を繋ぐ」について

- ・大学生も企画の一員として入り、自分達がどうやって何をするのかを考えながら活動できたことで、大人や参加された地域の方とたくさん関わりを持てた。
- ・「くるくるちえんじ」は、比治山近隣の地域の子どもたちが沢山参加したこともあり、より地域との繋がりがあったように感じる。また、「大人の学祭」は、多世代交流の場を通じて、若者が地域社会と交流するきっかけを作ることができた点で、大きな成果があった。一方でイベント後のつながりを継続する方法については、今後の課題として取り組んでいきたい。
- ・学生スタッフのほとんどが会場である比治山公園に行ったことがなかったが、若ツナフェスタを通じて、比治山公園の魅力に気づき、またこのようなイベントや違う形でも遊びに行きたいと感じた。比治山という地域と初めてつながりを持てた貴重な経験となった。
- ・若ツナフェスタでは地域の方々との貴重な交流の機会を得ることができた。普段、大学生活では地域の方々と直接関わる機会が少ないため、このような場を開くことができ良かったと感じている。比治山公園という場で若ツナフェスタを開催したことで、参加者同士が自然と親しくなることができ、地域とのつながりが深まったと感じている。
- ・今までは、大学周辺の小学生としか関わりが無かったため、出店などを通して、普段は接することのない人と多く繋がることもできた。
- ・私たちのプログラムを通して、地域の方々が多世代にわたる交流を深めることができた点で非常に満足している。

■ 目的3「若者が関与する地域の活性化につながる」について

- ・地域の方々と若者が直接対話し、地域の課題や関心事を共有することで、若者が地域活性化に関心を持つきっかけが生まれ、今後の地域活動にもつながる可能性があると考える。
- ・「ふゆのひアート」では、子どもたちの楽しそうな様子が印象的で、地域全体を巻き込んだイベントとして成功できたと思う。
- ・来場者や学生スタッフの中には、地域住民・市外にお住まいの方・学生・子供・大人と、様々な属性の方がいた。このように人が集まったのはこれからの比治山にとって活性化につながるのではないかと感じた(若ツナフェスタ出展も寄与)。

■ その他、刺激を受けた点、今後の活動に向けて参考になる点

- ・今までとは違う場所でのイベントだったため、これまで経験しなかったことや、これまでなかった考え方を知ることができ刺激になった。
- ・自然の材料を活かしたものづくりという発想が新しく感じ、刺激を受けた。子どもだけでなく、学生や社会人でも楽しめるプログラムだと感じ、印象に残った。
- ・「くるくるちえんじ」は、イベントの事前準備や段取りが非常に緻密である点が印象に残った。準備段階から当日までの流れをしっかりと計画し、全員がスムーズに動けるよう配慮されていたことで、当日の成功につながっていたのだと感じた。特に、試作などを行い、参加者目線に立った取り組みは印象に残っている。このような細やかな準備は、私たちの活動でも実践していきたいポイント。
- ・初対面の来場者にとってはあたたかく楽しい雰囲気でワークショップに参加できることは安心材料になると思うので、今後は私たちも来場者とコミュニケーションをとりながら良い場づくりに努めていきたい。
- ・メイク道具で仮面を作るのは、楽しそうだなと思ったし、子ども達ともたくさん関われそうだと感じた。また、他のエリアに出展されている飲食系のブースでは、ご飯を作るのも楽しそうに思ったので、何かの機会できたらと思った。
- ・もう少し集客の仕方を考えると良かった。
- ・お互いのイベントで工夫していることを話し合った際に、アイスブレイクの導入によって参加者がリラックスし、自然なコミュニケーションを取れる雰囲気を作り出していると伺った。社会人と学生を繋げることを目的としている自団体のイベントでも、参加者が初対面の緊張を和らげ、よりフランクに関われる場を提供するための手法として、活かせると思った。

